

最後まで誰もが下を向かずに一生懸命ボールを追いかけていた忘れられない試合です。

④3年生の時の優勝がかかったリーグ戦最終節のこと。試合前は快調に動いていた広角スームレンスが優勝が決まってスタンド前で応援団を揺るうとしたときに突然動かなくなったこと。その試合に向けて、サッカー班や大学職員の方みんな力を合わせて横断幕やTシャツを作っていたのに本番で自分がやらなければいけないことができなかった。本当に悔しかったです。

⑤(私は4年生の最後まで取材していたので卒業して胸スポを離れてということ。)本当にまわりには恵まれたと思います。自分一人では何もできなかったのに仲間がいて、サッカー部という自分たちにチャンスを与えてくれる選手たちがいて、そして、いつも無理を聞いてくれた大学職員の方や4年間を通して出会えた人たち。誰一人抜けてもこんなにもうまはいかなかったと思います。自分たちにしかできないことを自分たちだからこそやってこられたと思っています。

⑥特にいませんが、当時の駒大サッカーは最後まで諦めない気持ちで強いサッカーしている選手が多く好きでした。サッカーはひとりではできないということを実感させてくれる思いやりのあるプレーが多かったのも印象に残っています。

⑦200号おめでとうございます。代が入れ替わって作り手が替わっても「FORZA駒澤」は自分たちの4年間の中で大切な存在になってくれたらいいと思います。今までと同じことを続けることも大事ですが、自分たちの代だからこそできることをやってみるのでもいいかもしれません。後悔しないように挑戦してみてください。

―岩田さんが撮ったベストショットは何ですか。ベストショットは4年生の時の天皇杯の写真です。4年間、勝つことが多かったのですが今回も大丈夫だと思って望んだ中大との2回戦でした。場所が愛知ということもあって行くのをギリギリまで迷っていたのですが、行ってよかったと思いました。試合は中大大に逆転ゴールを決められ敗戦。いつもとは反対に「いいときはばかりではない」という思いとともに試合後、座り込む選手たち。その場にいることさえもつらい瞬間でした。最後の「プロとの対戦」を楽しみにしていたので自分も少し油断があったかもしれません。このときほど現場に行くことの重要性を強く感じたことはありません。

内田 浩嗣

(01年入学〜05年3月卒)

①発行する金曜の前日、前々日は毎晩徹夜してすごく辛かった記憶があります。ただ学生新聞だつてなめられるのがすごく悔しくて必死に頑張ってたと思う。

②巻誠一郎選手、深井正樹選手の対談。寮の部屋で取材させてもらったが、「日本代表で2トップと



(上) 2001年6月22日に発行された、記念すべき第1号FORZA。今とは見た目が全然違う歴史を感じます

(左上) 岩田さん、内田さんがベストゲームと語った試合内容が掲載されているFORZA(18号)

(左) 現体制になってからの第1弾FORZA。この時はまだ187号でした。

士がげんか。一週間ぐらいその状況にはさまれていたのが辛かった...

⑤大学時代、必死にやったことは今にならなくなっていると思う。辛いことはあったけどそれを乗り越えて本当によかったと思う。

⑥田谷高浩。最初名前を監督から教えてもらったとき「田谷高浩(たやこう・ひろし)」だと思っただ(笑)。2年のときにインカレのベストMF賞を獲ったし、駒大の魂を感じる選手。あのがむしや

山本麻紗子

(03年入学〜07年3月卒)

①(自分がチーフだった時は)一度も納得のいくものができなかったように思う。

②一つ一つが思い出で1番は決められない。

③2006年インカレ決勝・順天堂戦。

④締め切りが近いのに終わりが見えない時。

⑤選手の活躍が楽しみな事、思い出がたくさんできた事、こういう形でまたFORZAに参加できた事など本当にやっていて良かったと思う。

⑥筑城和人選手。どんな時もガッツ溢れるプレーが魅力だから。

⑦200号本当におめでとうございます。これからもたくさんの人に読んでもらえる情報誌であり続けてください。

永田博義

(05年入学〜在学中)

①締め切りに間に合わす為に必死でした。1週間が短く感じてました。

②トップリーグの取材は大前提で1・2年の時には練習試合。そして2年からはJr.リーグ・1リーグの試合を全て見られることができて非常に思い出に残っています。

③1リーグ全試合

④1年生の時に神奈川大学との練習試合(45分×9本)を1人で取材。しかも珍しく神奈川大学Gで。HPへの掲載作業に苦労しました。

⑤あの頃は若かった。

⑥田村貴之。今は1リーグ出てないですが、彼のひたむきなプレーが今年の1リーグ全国出場の基礎を作ったと思っています。

⑦おめでとうございます。目指せ1000号!



か夢を語っている彼らの瞳がすくきさらさらしていたのを覚えている。あとはユニバーシアードで韓国のテグに行ったこと。チームが優勝したし、駒大以外のいろんな人に出会えた。

③天皇杯の駒澤大VSジュビロ磐田。この試合は本当にすごかった。駒大の目指しているサッカーってこんなにはすばらしいんだと思った。卒業していろんなサッカーの試合を見ているがこの試合ほど感動した試合はない。本当に生で見られてラッキーだったと思う。

④大臣杯の取材で大阪に遠征して、そこで後輩同

History of FORZA



⑦200号おめでとうございます。1リーグやJr.リーグまで取材範囲を広げて、すばらしいと思います。これから「どうしたら読みやすい紙面になるのか」とか「どうしたら読んでもらえるか」など読者側にたった紙面作りを目指してもらえればと思います。そしてここまで来るのにはいろんな人の支えがあることを忘れずに。いろいろな大変なこともあるかとは思いますがこれからも頑張ってください。